

先行薬物重罪判決を受けた人に関する変更について:

2015年4月1日から、CalWORKsおよびCalFreshプログラムにより、薬物重罪判決を受けた人を給付対象とします。これは、有罪判決のほうが多いう理由で拒否されたか、給付を失った人向けのサービスです。両親は自動的にCalWORKs Assistance Unit (AU)に加入します。郡は支給金の支払いを進めるにあたり、さらに情報が必要な場合はお知らせします。

継父母の場合はAUへの加入は任意であり、自動的に加入とはなりません。継父母ないしは登録済事実婚夫婦としての加入を希望する場合は、郡に問い合わせてください。

CalWORKsおよびCalFreshの対象となる全ての人と同様に、薬物重罪判決を受けて仮釈放または保護観察中の人はそれぞれ仮釈放または保護観察の規則に従う必要があります。また、認定済薬物治療計画が仮釈放または保護観察の条件となっている場合は当該計画も規則に含めるものとします。

あなたは、4月1日以降の支給額を記載した措置通知を3月に送付します。

CalFresh(食費助成プログラム)の変更:

CalFreshに追加で加入した人がいる場合、その世帯が受け取る食料給付は増える場合が多くあります。その人がCalWORKsにも加入した場合、現金給付額が増額されCalFresh支給額は減額されます。CalFresh支給額が変更された場合は、別途通知を送付します。

Welfare-to-Work ウェルフェアトゥワーク:

成人をCalWORKsに追加する場合、家族の就業要件が変更される場合があります。助成対象の成人は就業または就業につながる活動に従事している必要があります。この就業要件を免除(除外)となる人もあります。先行薬物重罪判決を受け、AUに加入した人は、2015年4月1日以降ウェルフェアトゥワーク(WTW)プログラムを行う必要がある場合があります。WTWプログラムを行う必要のない人はボランティア活動を行っても構いません。

WTWプログラムは就業支援の一環として、教育、訓練、職業技能のプログラムを提供することができます。郡は養育費の調整および補助も行います。また、交通費や特殊用具や衣服といった就業またはWTWプログラムに必要な諸費用も支給されます。ホームレスや家族のトラブルなど、家族が過酷な状態にある場合は、CalWORKsが特殊な支援を行うことができる場合があります。

あなたがWTWを行う必要があるのに関わらず課せられた事項を行わない場合、現金給付が減額される場合があります。郡はCalWORKsの就業要件についての追加情報を送付します。WTWの除外要件の申請用紙も送付します。

保育サービス:

CalWORKsの給付対象の成人が勤務またはWTW認定の活動に従事している場合、保育サービスを利用することができます。あなたの子が保育サービスを受けていてあなたがCalWORKsの支給対象となった場合は、保育サービス提供者を変える必要はありません。特にご利用中のサービス提供者がCalWORKsの保育料助成を受諾する場合はそのままご利用いただけます。

郡に連絡してあなたが利用可能な保育サービスのオプションの状況について話し合ってください。

育児給付:

CalWORKsの支給対象の成人はCalWORKs対象の子に関する育児給付の回収に協力する必要があります。支給された育児給付は郡に返納する必要があります。これはあなたのケースが育児給付として支給される額は月額50ドルまでとする規則の適用対象になるためです。この50ドルがあなたの助成金に不利にはなることはありません。育児給付の残額は、あなたの現金給付の返納分に充当されます。

育児給付の変更についてご質問がある場合、または育児給付が回収された場合に家族が危険にさらされる場合は、郡に連絡してください。